



平成三十年七月二十日
 皇紀2678年
 (西暦2018年)
 第170号
 発行：淀姫神社社務所
 〒859-4501
 松浦市志佐町浦免632
 TEL・FAX 0956-72-0653

かなりの高温状態になっています

命に危険が及ぶ暑さ

これを書いていっているのは七月二十日です。梅雨明けしてからというもの、全国的に猛烈な暑さに見舞われています。中には外気温が観測上40℃を超えたところもあるようです。数字を出す温度計は、地上約1.5メートルで直射日光を避けるように設置されています。で、実際の体感としてはもっと暑く感じます。また、気象庁が熱中症への注意を呼びかける緊急の会見を行い、「過去にないレベル」として高温に関する情報を発表しています。報道でも、熱中症によって命を落とす可能性があると、厳重な警戒を呼びかけています。今年の夏は、例年以上に暑さに対する危機意識を持って臨むようにしましょう。

神社うんちく帖

今回はまた『古事記』に則って、伊耶那岐と伊耶那美神話について書きたいと思えます。

◆大八島国の誕生

伊耶那岐神・伊耶那美神は布斗麻邇に従って、改めて契りを交わします。そして、たくさんの子どもを産みました。そのうち、最初に生まれたのが「大八島(おおよしま)」と呼ばれるいくつかの島々です。

- 順番に書くと次の通りとなります。
 - 「淡道之穗之狭別嶋(淡路島)」
 - 「伊豫之二名嶋(四国)」
 - 「隠岐之三子嶋(隠岐の島)」
 - 「筑紫嶋(九州)」
 - 「伊伎嶋(壱岐)」
 - 「津嶋(対馬)」
 - 「佐度嶋(佐渡)」
 - 「大倭豊秋津嶋(本州)」
- これらの島々を「大八島国」といい、現在の日本の国土となったと伝えていきます。伊耶那岐・伊耶那美の二柱は、この他にもいくつかの島を生みました。それは割愛。

◆神生み

そしてさらに多くの神様を生み出します。それらの神さまは、多くが天地自然の神さまです。伊耶那岐・伊耶那美が生んだ海の神「大綿津見神」の子供で、河口の神である「速秋津日子神」「速秋津比賣神」二柱は、海辺に降りて、水にまつわる神さまたちを次々と生みました。また、風の神こと「志那津比古神」、木の神こと「久久能智神」が生まれます。これらの神

は家屋の神とされています。

山の神こと「大山津見神」と野の神「鹿屋野比賣神」は、山野に降り立ち、神々を生みます。生まれたのは、深い暗い峡谷や立ちこめる霧など、立ち入ると迷ってしまう山野にまつわる神さまたちです。

こうして伊耶那岐・伊耶那美という二柱の神によって、より具体的の世界が整い始めました。

それ以前の国土は「ふわふわと漂うような不安定な状態」でしたが、大八島が生まれ、海や水、風や木、山や野、森や峡谷などが生まれたことによって、はっきりとした姿と形を現わしてきます。

これらにより、世界は人間が住まうことが出来る状態となったのです。

◆穀物神の誕生

伊耶那岐・伊耶那美は、次に石のように堅いクスノキの船を生み、次に穀物の神さまを生みました。

その神さまは「大気都比売神」。この穀物の女神さまが生まれたことによって、人間は五穀を得ることが出来るようになり、この世界で生きられるようになりました。

淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。スマートフォン・タブレットなどにも完全対応しています。

